はじめに

ストーブをつけないと寝られないようの厳しい冷え込みから一転、最近では初夏を感じさせる陽気となり、季節の移り変わりの激しさに驚かされる今日この頃です。

入園から早１ヶ月半が経ち、初めは固かった子ども達の表情も時が経つにつれて柔らかなものになってきているのではないかと思います。

そうした様子を象徴するのが、「みんなで楽しみ、互いの仲を深めよう。」ということで、留学生自身が企画運営を行なった「大運会」（運動会）です。少しずつ生活に慣れが見え始め、その分心に余裕が持てたからこそ、こうした活動につながったのではないでしょうか。

さて、5 月 15 日、センターではよもぎ餅作りの活動を行いました。地元の子ども達やその保護者の皆様をはじめ、講師として多数の地域の方に来ていただきました。餅つき後、留学生たちが訪問してよもぎ餅をお配りした際、多くの方から心優しい声をかけていただきました。改めて、利賀村の皆様の暖かさを感じることができた１日となりました。ありがとうございました。

その他にも、地域の皆様方には様々な場面で山村留学を支えていただいております。そうした支えがあってはじめてこの生活が成り立っているのだということを忘れずに、大人も子どももここでの生活を一つひとつ積み重ねていきたいと思います。

これからも南砺利賀みらい留学をよろしくお願いいたします。　　邑上　貴厚

《 ４・５月の活動カレンダー 》

4月

24 日　畑おこし，受け入れ家庭対面式（ホームステイ開始）

5月

1 日　センター入り・よもぎ採り
2 日　養蚕／よもぎ刻み，よもぎパンケーキ作り
3 日　きのこの植菌
4 日　畝立て・じゃがいも植え
5 日　庄川水資料館見学
8 日　サツマイモ植え・種まき，笹団子づくり，代かき
9 日　茶碗作り，大運会（センター運動会）
15 日　よもぎもち大会
17 日　夏野菜の定植，民謡見学
18 日　ホームステイ開始

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

4／24　畑おこし

初めての畑作業は、畑おこしを行いました。田おこしをした後の日取りだったので、鍬の扱いに慣れてきた留学生たち。大きく育った雑草や乾いた土に苦戦する姿もありましたが、「そろそろ交代しよう！」などと声を掛け合って作業していました。

受け入れ家庭対面式

数日前からこの日を楽しみにしていた留学生たちですが、いざ当日を迎えると緊張の面持ち。それでも、「お父さん・お母さんの子どもとして時に厳しく、時には褒めて欲しい」「お手伝いをしたいです」など、一人ひとりが受け入れ家庭のお父さん・お母さんに思いを伝えました。「よろしくお願いします」と挨拶し、それぞれの家庭へ。一年間各家庭の子どもとしてお世話になります。

5／2　選択活動（よもぎ刻み・養蚕）

〈 よもぎ刻み班 〉

よもぎもち大会に向けて、よもぎの下処理を。「くっついているから切るの難しい」と苦戦しながらも、ひと押しごと丁寧に刻んだり、トントントンと叩いて刻んだりと刻み方を工夫している様子でした。黙々と刻み続けたので、「手が疲れたよ…」と話す姿もありました。

〈 養蚕班 〉

八尾ゆめの森ゆうゆう館へ行き、天蚕と呼ばれるヤママユの卵の選別を行いました。卵をピンセットで選別し、合わせて二千個ほどを紙に貼り付けました。着々と作業を進める人もいれば、「この卵は元気かな」と卵の小さな個体差を楽しむ人もいました。今回は「県がうん天蚕の会」の方が、蚕を育て絹糸にするまでの工程や、作業のやり方を説明してくださいました。周辺地域に伝わる養蚕の文化、今後も体験を重ねたいところです。

5／3　きのこの植菌

山村文化の体験として、きのこの植菌の活動を行いました。地域の方に教わりながら、ドリルで原木に穴を開けて種コマをハンマーで打ち込んでいきました。

活動の中では昔の道具（原木に穴を開けるハンマー）の紹介もあり、「ドリルじゃなくてこっちも使ってみたい！」「難しい…全然穴があかないよ。」と様々な声が子どもたちから上がっていました。

しいたけ、なめこの２種類の種コマを 400 個ずつ植菌し、できたものを地面に伏せて作業は終了。1 年後の秋には食べられるようになります。

5／4　畝立て・じゃがいも植え

この日はまず、近所の方がくださったジャガイモを植えました。分担して作業し、あっという間に植え終わりました。次に、後日野菜を植えるための畝立てとマルチ張りをしました。連日の雨で重くなった土を寄せる作業に「疲れた！」「代わって～」と手が止まる場面もありましたが、みんなで歌うなどしながら、昼過ぎまで頑張って作業を終えました。

5／8　サツマイモ植え・種まき

サツマイモの苗を植え、８ 種類の種をまきました。苗植えでは、マルチに開けた穴に手を入れて土をいじるのが「難しい…」という人もちらほら。時間をかけて植えつけていました。

まいた種はオクラ、枝豆、カボチャなど。放課後のおやつになるように二十日大根なども。自分の選んだ種を、それぞれ大切にまいていました。

代かき

暖かな日差しのもと、２回目の稲作作業「代かき」を行いました。足で土を踏んで細かくしていく、田植え準備の作業です。足裏を保護するため、靴下を二重に履いて田んぼの中に入りました。田起こしの時とは違う土の感触に「気持ちいい！」「前と全然違う！」と子どもたち。皆で１列に並んで、田んぼの中を１時間ほど往復しました。その後は、田んぼの中で相撲をとったり、かけっこをしたりして、終わる頃には全身泥だらけになりました。

5／9　茶碗作り

物を大切に使うことを学ぶ体験の一環として、山村留学中自分で使うための「茶碗作り」を行いました。作り方は、明治時代、砺波市周辺に開かれた「三助焼」の窯元から講師の方をお迎えして教わりました。講師の方のお手本を見ていると、鮮やかな手さばきであっという間に茶碗ができるのですが、いざやってみると「まっすぐ上に伸びない…。」「最後の最後で底が抜けちゃった！」と皆大苦戦。講師の方に手伝っていただきながら、なんとかお茶碗が完成しました。

大運会（センター運動会）

留学生の「運動会やりたい！」という発言から始まったこの企画。約１ヶ月間、チーム分けからプログラム、競技のルールなど全てを留学生が準備して実現しました。45m 走、二人三脚、応援合戦、しっぽ取り、軍団対抗リレー、どの競技もみんな全力。そして、「がんばれー！」「負けるなー！」という歓声が後を絶ちません。留学生自身で準備した活動だからこそ、輝く姿がたくさんありました。

5／15　よもぎもち大会

　留学生のことを、地域の方に知ってもらおう！ということで、よもぎもち大会を開催しました。よもぎは留学生全員で５月初旬に採取して準備を進めてきました。当日の餅つきには地元の保育園児、小・中学生やその保護者の方、講師として何人もの地域の方にお越しいただきました。ついた餅はパック詰めして、地域の方に配って回りました。
　ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

5／17　夏野菜の定植

　トマトやキュウリなど、夏野菜の苗を植えました。雨天が続く中、ホームステイに行く前にと晴れ間を縫っての急ぎの作業でしたが、「そっち手伝って！」「ポット洗っとくね！」と声を掛け合って手際よく植え付けました。無事に予定の苗を全て植えることができて、ひと安心です。今後も野菜の元気な成長を願って作業していきます。

利賀みらい留学に寄せて

＝ 地域の方からひと言 ＝
笠野　千尋　さん
（NPO 法人利賀山川まもる）

　２０数年ぶりにスターフォレスト利賀（旧坂上小学校）から子供達の声と動きまわる姿が目に入ってくるようになりました。４月に開園した南砺利賀みらい留学１期生の子供達です。
　学園が家の前にある為、子供達の活動を見る機会が多く、眺めているだけで元気をもらっています。親元を離れて来てくれた留学生に感謝しています。
　この山村留学事業がみらいへと繋がるためにも微力ながら応援していきたいと思っています。

《くま爺のつぶやき》

南砺利賀みらい留学
統括主幹　山本

　私自身の力不足により難破船に乗って南砺利賀みらい留学号が出航しようとしていた。長年、各地で山村留学の立ち上げに関わってきたがこのような経験は初めてだった。３月末になっても留学生の拠点となる施設の準備が間に合わない。備品、消耗品も不足していた。４月になり留学生が来村する３日前、大勢の地元の方々（子どもたちも含め）が来られてセンター内の片付けや床を磨き、備品、消耗品も届けてくださった。地域の方々に強く支えられ今日を迎えることができた。深く感謝を申しあげるとともに、これからもよろしくお願いする次第。